



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場会社名 ヒロセ電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6806 URL http://www.hirose.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)石井 和徳
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部副本部長 (氏名)福本 広志 (TEL)03(3491)5300
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	62,396	1.2	16,737	△4.1	17,753	△2.8	11,296	△2.7
26年3月期第2四半期	61,667	31.8	17,452	59.2	18,268	59.7	11,608	70.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 15,358百万円(3.0%) 26年3月期第2四半期 14,913百万円(163.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	331.16	331.15
26年3月期第2四半期	336.71	336.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	313,454	280,835	89.3
26年3月期	300,751	269,164	89.2

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期279,830百万円 26年3月期268,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	90.00	—	110.00	200.00
27年3月期	—	115.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	115.00	230.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,000	1.6	33,100	0.3	34,800	0.2	22,500	0.3	659.59

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期2Q	40,020,736株	26年3月期	40,020,736株
27年3月期2Q	5,908,850株	26年3月期	5,910,865株
27年3月期2Q	34,110,662株	26年3月期2Q	34,475,735株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成26年11月4日（火）に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策及び金融政策を背景とした円高の是正や株式市場の回復も進み、企業収益や雇用・所得環境の改善も見られました。

一方、消費増税の駆け込み需要の反動の長期化や夏場の天候不順による悪影響により、個人消費の戻りは緩慢で更に世界経済の下振れ懸念もあり、依然として先行きの不透明な状況が続いていくものと思われます。

このような状況下当社グループは、主にスマートフォン市場向け、自動車市場向け及び産業用機器市場向けのグローバル事業拡大を進めると共に高度化する市場ニーズへの更なる迅速な対応を目指し、高付加価値新製品の開発・販売・生産体制の強化を推進して参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は623億9千6百万円（前年同期比1.2%の増）、営業利益は167億3千7百万円（同4.1%の減）、経常利益は177億5千3百万円（同2.8%の減）、四半期純利益は112億9千6百万円（同2.7%の減）となりました。

また、報告セグメントごとの業績を示しますと、次の通りであります。

[多極コネクタ]

当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC(フレキシブル基板)用コネクタ、ナイロンコネクタ等多品種にわたります。

主としてスマートフォン、タブレットPC、通信機器、カーエレクトロニクス等の分野から計測・制御機器、FA機器及び医療機器などの産業用機器等の分野まで幅広く使用されているコネクタであり、今後の更なる高度情報通信ネットワーク化社会及び環境を考慮した省エネ化社会の進展とともに需要の拡大が見込まれております。

当第2四半期連結累計期間は、韓国スマートフォン市場向けビジネスは低迷したものの中国スマートフォン市場向けや自動車市場向け及び産業用機器市場向けの受注・売上が概ね堅調に推移し、売上高は507億7千5百万円（前年同期比2.1%の増）、営業利益は146億5千4百万円（前年同期比2.0%の増）となりました。

[同軸コネクタ]

同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にマイクロ波通信機、衛星通信装置、電子計測器、またはスマートフォン及び伝送・交換装置等に使用されるコネクタであります。なお、光コネクタ、同軸スイッチもこの中に含んでおります。

当第2四半期連結累計期間は、売上高は76億8千4百万円（前年同期比15.6%の減）、営業利益は19億6千6百万円（前年同期比33.4%の減）となりました。

[その他]

以上のコネクタ製品以外の製品として干渉波EMS等の電子医療機器、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類を一括しております。

当第2四半期連結累計期間は、売上高は39億3千5百万円（前年同期比38.5%の増）、営業利益は1億1千5百万円（前年同期比7.3%の減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度に比べ127億3百万円増加して3,134億5千4百万円となりました。負債は支払手形及び買掛金の増加などにより、10億3千2百万円増加して326億1千9百万円となりました。また、純資産は、利益剰余金の増加などにより116億7千万円増加して2,808億3千5百万円となりました。この結果、自己資本比率は89.3%となり、前連結会計年度末と比べ0.1%増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

自動車及び産業機器市場向けビジネスは、ほぼ堅調に推移しておりますが、一部スマートフォン向けビジネスが当初予想より低迷しているため、平成26年5月8日に公表致しました通期連結業績予想を修正致します。

なお、通期連結業績予想の前提となる第3四半期以降の為替レートは1US\$=106円、1ユーロ=135円を想定しております。

また、配当予想につきましては変更はありません。

具体的な内容につきましては、本日（平成26年10月31日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	126,239	132,538
受取手形及び売掛金	29,473	30,902
有価証券	30,324	29,830
商品及び製品	4,212	5,093
仕掛品	2,819	2,797
原材料及び貯蔵品	1,365	1,378
未収入金	3,078	3,149
その他	3,511	4,107
貸倒引当金	△95	△92
流動資産合計	200,930	209,705
固定資産		
有形固定資産	31,697	36,454
無形固定資産	1,345	1,294
投資その他の資産		
投資有価証券	62,013	62,790
退職給付に係る資産	269	341
その他	4,576	2,945
貸倒引当金	△80	△77
投資その他の資産合計	66,777	66,000
固定資産合計	99,820	103,748
資産合計	300,751	313,454

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,375	12,960
未払法人税等	7,836	5,933
賞与引当金	1,575	1,748
役員賞与引当金	169	215
その他	5,073	5,317
流動負債合計	26,031	26,175
固定負債		
退職給付に係る負債	213	406
その他	5,341	6,036
固定負債合計	5,554	6,443
負債合計	31,586	32,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,404	9,404
資本剰余金	14,441	14,445
利益剰余金	295,725	303,310
自己株式	△61,766	△61,746
株主資本合計	257,805	265,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,750	5,380
為替換算調整勘定	5,720	9,026
退職給付に係る調整累計額	19	9
その他の包括利益累計額合計	10,490	14,417
新株予約権	63	114
少数株主持分	804	889
純資産合計	269,164	280,835
負債純資産合計	300,751	313,454

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	61,667	62,396
売上原価	33,305	34,183
売上総利益	28,361	28,212
販売費及び一般管理費	10,909	11,475
営業利益	17,452	16,737
営業外収益		
受取利息	364	370
受取配当金	74	94
為替差益	—	240
その他	442	358
営業外収益合計	881	1,064
営業外費用		
為替差損	18	—
事務所移転費用	—	11
その他	46	36
営業外費用合計	65	47
経常利益	18,268	17,753
特別損失		
固定資産除却損	88	57
特別損失合計	88	57
税金等調整前四半期純利益	18,180	17,695
法人税等	6,446	6,322
少数株主損益調整前四半期純利益	11,734	11,373
少数株主利益	125	76
四半期純利益	11,608	11,296

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,734	11,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	929	630
為替換算調整勘定	2,249	3,364
退職給付に係る調整額	—	△9
その他の包括利益合計	3,179	3,985
四半期包括利益	14,913	15,358
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,749	15,222
少数株主に係る四半期包括利益	164	135

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	多極コネクタ	同軸コネクタ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	49,724	9,101	58,825	2,841	61,667
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	49,724	9,101	58,825	2,841	61,667
セグメント利益(営業利益)	14,374	2,953	17,327	124	17,452

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、干渉波EMS等の電子医療機器、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類等を一括しております。

2. 地域に関する情報

	日本	海外売上高					連結売上高
		北米	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	合計	
I 売上高(百万円)	16,958	3,190	37,641	3,251	624	44,708	61,667
II 連結売上高 に占める割合(%)	27.5	5.2	61.0	5.3	1.0	72.5	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

II 当第2半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	多極コネクタ	同軸コネクタ	計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,775	7,684	58,460	3,935	62,396
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	50,775	7,684	58,460	3,935	62,396
セグメント利益(営業利益)	14,654	1,966	16,621	115	16,737

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、干渉波EMS等の電子医療機器、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類等を一括しております。

2. 地域に関する情報

	日本	海外売上高					連結売上高
		北米	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	合計	
I 売上高(百万円)	17,651	3,285	36,937	3,610	911	44,744	62,396
II 連結売上高 に占める割合(%)	28.3	5.3	59.2	5.8	1.4	71.7	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。